

「HPVワクチン」と「成人・高齢者の肺炎ワクチン」

知らないまま後悔しないで。HPVワクチンによる子宮頸がん予防と高齢者の肺炎予防

ごあいさつ

呉市医師会では毎年健康に関する講演会を企画しています。今年は、多くの女性の命を奪う子宮頸がんを予防する「HPVワクチン」と、高齢者の生命を脅かす肺炎等を予防する「肺炎球菌ワクチン」などについて、幅広い年代の方々に分かりやすい講演をお願いしています。参加者ご自身だけでなく、ご家族の疾病予防の参考にしていただければ幸いです。

呉市医師会 会長 石井 哲朗

講師からのメッセージ



若者にHPVワクチンについて広く発信する会
代表 中島 花音 さん

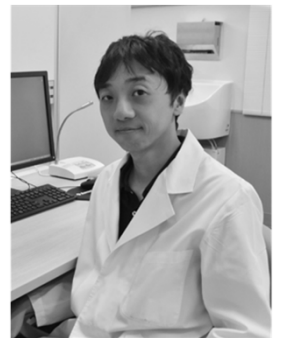


@VCAN_OFFICIAL_

「若者にHPVワクチンについて広く発信する会Vcan」は、全国の医療系学生が運営する団体です。子宮頸がんを予防できるHPVワクチンの存在を知らずに後悔する若者を減らしたい— そんな思いから「知らないまま後悔しないで」というメッセージを発信しています。接種を強制するのではなく、自分で考えるきっかけを届けることを大切にしています。

主な活動は中高生向けの出張授業で、これまでに約4,500人に届けてきました。Instagramでの発信も若者を中心に広がっています。

肺の感染症（肺炎など）を予防するワクチンを御存知ですか？
肺炎を防ぐには手洗い・うがい・マスク着用に加えてワクチン接種があります。
ワクチン接種で救える命があります。
一緒に肺のワクチン、考えてみませんか？



佐々木内科呼吸器科クリニック
院長 佐々木 啓介 先生

～講師略歴～

2008年川崎医科大学医学部卒業。広島大学第2内科入局。安佐市民病院、吉島病院、呉医療センター、中国労災病院で呼吸器内科勤務を経て、2018年より佐々木内科呼吸器科クリニック副院長、2023年に院長就任。

また、2020年4月より呉市医師会理事に就任。新型コロナウイルス感染症流行の際は、コロナ対策担当を兼任した。

婦人科専門医からのメッセージ

HPVワクチンで未来を守る ～女性も男性も知っておきたい子宮頸がん

子宮頸がんは、若い女性にも発症するがんであり、日本では年間約1万人が診断され、毎年約2,900人が命を落としています。原因のほとんどは、ヒトパピローマウイルス(HPV)というごく一般的なウイルスへの感染です。

HPVワクチンの副反応には、注射部位の痛みや腫れ、発熱、頭痛などがありますが、ほとんどは軽度で一時的なもので、ほかのワクチンと比較してもおおむね同程度か、やや頻度が高いが重篤なものはまれという位置づけです。

男性では中咽頭がん、肛門がん、陰茎がんなどの原因になり、またパートナーへの感染源にもなります。そのため、近年は男性へのHPVワクチン接種も推奨されるようになっていきます。

この公開講座では、将来医療に携わる学生が市民との重要な橋渡しをしてくれる講座になっています。未来のために一緒に学びましょう。

笠岡レディースクリニック 院長 笠岡 永光 先生

2025年

11月3日(月・祝)

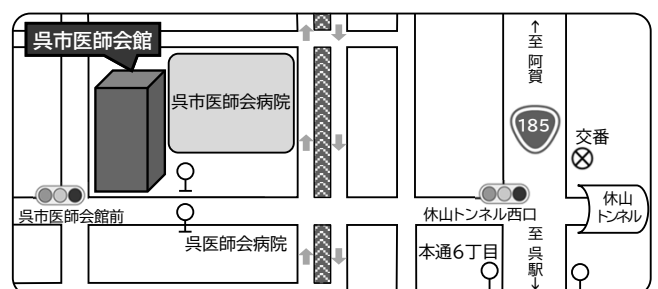
13:30～15:15

ハイブリッド(会場+WEB)開催

会場:呉市医師会館(呉市朝日町15-24)/WEB(Zoomウェビナー)

※駐車場がございませんので公共交通機関をご利用ください。
お車の場合は、近隣コインパーキング(有料)をご利用ください。

お申込み



最寄りバス停

「呉医師会病院」呉市生活バス(富士交通)【三条二河宝町線】

「本通り6丁目」広電バス【広仁方線】【郷原線】、JRバス中国【呉苗代下条線】